

地方の将来考え村視察

ドイツ日本研究所長 村長と懇談



六ヶ所村を訪れ、戸田村長(右)と懇談したヴァルデンベルガー所長(左)

東京に事務所を置き、日

六ヶ所

本の経済・社会・政治などを研究している「ドイツ日本研究所」のフランク・ヴ

アルデンベルガー所長ら3人の研究者がこのほど、六ヶ所村を訪れ戸田村長と懇談した。

一行は13、14日の2日間、地方自治体の将来をテーマに、村内の公共施設や大規模太陽光発電、風力発電などを視察した。

経済学者でもあるヴァルデンベルガー所長は、バラ・ホルトス副所長、専任研究員のダニエル・クレマーさんと共に村役場を訪れ、戸田村長に「政策の優先順位はどのように決めているのか」「子育て政策についての考え方は」な

どと質問。戸田村長は「若い世代が村に増え、子育て支援の充実は大きな課題の一つ」などと述べた。

視察や研究の成果は論文などにまとめるといい、懇談後、ヴァルデンベルガー所長は「六ヶ所は核燃料サイクルの村というイメージがあるが、再生エネルギーの取り組みも盛んで良いケーススタディーになる。資料を集め考察を深めたい」と述べた。